

Planet

FY2030までに
カーボンニュートラル

People

FY2025までに
従業員エンゲージメントスコア

4.2

Transparency

FY2030までに
取締役会女性比率

30%

Valuence

バリュエンス、2030年度に向けたサステナビリティへのコミットメントを発表

あらゆるステークホルダーへ人生を変える価値を提供し、一人ひとりが「らしく、生きる。」世界の実現を目指すバリュエンスグループ（バリュエンスホールディングス本社：東京都港区、グループ CEO：嵯本 晋輔）は、ESG（環境・社会・ガバナンス）について、グループにおける2030年度までの目標を設定したことをお知らせいたします。あわせて、ESGに関連する各種方針とデータをコーポレートサイト内「Sustainability」ページ（<https://www.valuence.inc/sustainability/>）にて10月14日、公開したことをお知らせいたします。

2030年度までのサステナビリティへのコミットメントを設定

バリュエンスグループでは、ラグジュアリー品や骨董品、美術品等を次の人へつなげる“リユース”を事業の中核に置いています。この事業を通じ、モノの寿命を延ばし循環型社会形成の一助を担うことで、地球環境へと貢献しております。2021年5月には、ビジネスを成長させながらもより良い世界を未来へ残すため、マテリアリティ（優先的ESG課題）を特定しました。

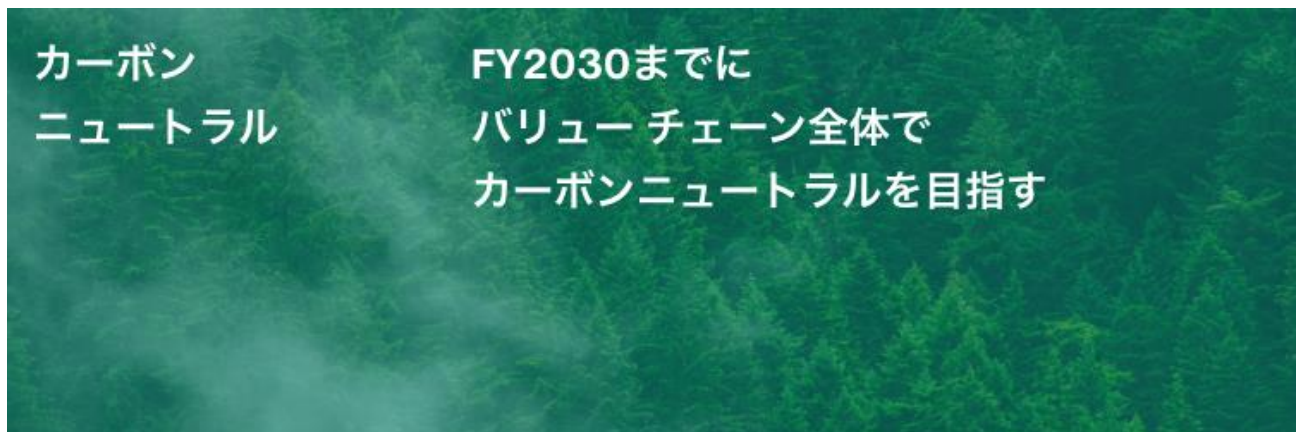
そしてこの度、バリュエンスグループではESG課題のEを「Planet」、Sを「People」、Gを「Transparency」と位置づけし、2030年度までの実現を目指すESGそれぞれの目標を設定しました。

サステナビリティへのコミットメントを発表

今回設定したサステナビリティへのコミットメントは以下の通りです。

E : Planet

2030年度までに、バリューチェーン全体におけるカーボンニュートラルを目指す（※1）

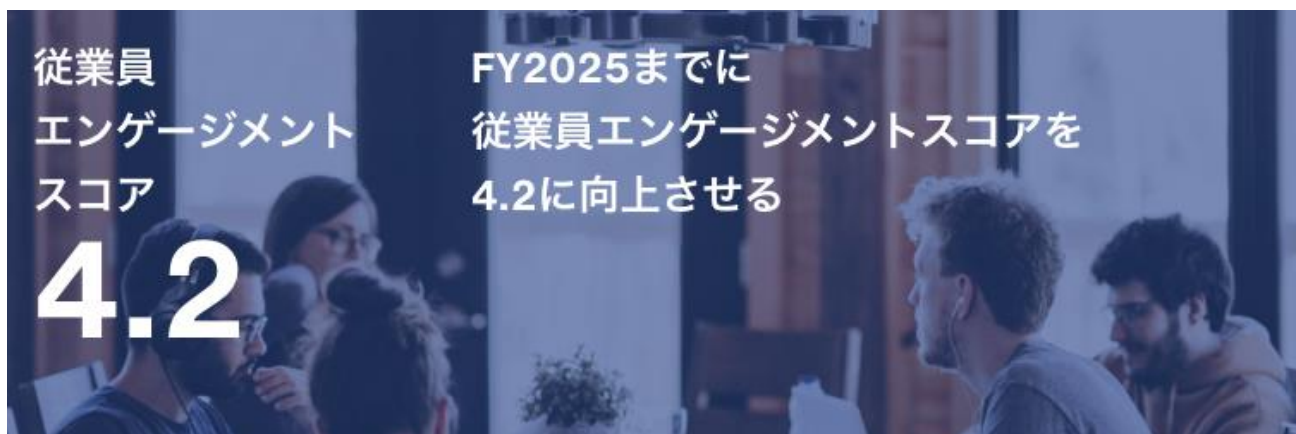


世界的に急務であり重要視されている「気候変動」への対応について、一企業としての社会的責任を果たすため、具体的な目標を設定いたしました。

※1 バリューチェーン全体での温室効果ガス排出量は、自社からの排出（Scope1、Scope2）に加え、事業活動に関わる間接的な排出（Scope3）を対象とする

S : People

2025年度までに、従業員エンゲージメントスコアを4.2に向上させる（※2）



バリュエンスグループにとって優先度の高いマテリアリティ項目である「従業員エンゲージメント」について目標を設定いたしました。

※2 外部エンゲージメントサーベイ「会社満足度」「仕事満足度」「上司満足度」「職場満足度」における各スコア平均値（1～5段階評価）

※ 2021年8月期スコア：3.3

G : Transparency

2030年度までに、当社の取締役会構成員の女性比率30%を達成する



取締役会の多様性が事業の推進や経営の監督に資するとの認識に立ち、「コーポレートガバナンス基本方針」に即し取締役構成員の女性比率に対して具体的な数値目標を設定いたしました。

またバリュエンスグループでは、人権方針を始めとする ESG に関連する各種方針を公開しました。さらに GHG プロトコルに基づいた温室効果ガス排出量、従業員男女比率など、当社グループの各種 ESG に関するデータも開示しております。詳細はバリュエンスグループサイト内「Sustainability」ページおよび「ESG データ」ページをご覧ください。

- ・ Sustainability ページ：<https://www.valuence.inc/sustainability/>
- ・ ESG データページ：<https://www.valuence.inc/sustainability/data/>

**今後もさらなる活動を推進**

バリュエンスグループでは、今回公開した ESG 目標の達成に向けて取組を加速させていくとともに、事業の推進がサステナビリティの推進につながるとの考えのもと、サービスにおいても ESG の視点を積極的に盛り込み、活動を進めてまいります。

■バリュエンスホールディングス株式会社 (<https://www.valuence.inc/>)

- ・ 証券コード：9270
- ・ 設立：2011年12月28日
- ・ 代表取締役社長：寄本 晋輔
- ・ 本社所在地：東京都港区港南 1-2-70 品川シーズンテラス 28 階
- ・ 事業内容：グループ全体の経営・マネジメント強化、戦略立案・策定、企業価値の最大化